

閻博士インタビューハイライト Bannon氏 War Room EP327 パート 1



【日本語】

Bannon氏 War Room EP327

https://youtu.be/ZH8I06W_u5g?t=2322

秘密翻訳組同時通訳動画 EP327/328

<https://youtu.be/pCde5hsWQI0?t=3540>

[ジャック]

閔博士、スティーブン・モシャー(Dr. Steven Mosher)博士が述べていた趣旨を鑑み、昨日のWHOのライアン(Dr. Michael J. Ryan)博士が言っていた警告で、ウイルスの真相とその起源について、永久に究明できないかもしれないとあります。WHOは未だに、どのような方法でウイルスの調査をするか、中共政府とまだ合意出来ていないそうです。

先週末にも仰っていましたよね、このウイルスは中共が故意に放出したものだ。その理由として、中共国の歴史を振り返ってみて、似たようなことが何回も起こったからだ。と辛辣なご見解を述べてくれた。

是非伺いたいのは、貴女は中共のこの悪質な本性に悟った経緯、特に特に去年12月末から今年1月初め頃までの、コロナウイルスの調査に当たっていた期間に感じたことなど、お聞かせください。

[閔博士]

ジャックさん、ありがとうございます！

私が行った(ウイルスの)調査を通してお答えします。2回調査をしました。この前にも話したように、去年の12月31日から1月中旬に至り、私はこのウイルスは単純に自然発生したものではないと意識するようになりました。インフルエンザのようではなく... ゲノム配列データや研究者、医師達及び疾病管理センターのスタッフ達の反応など、そして、中共政府がウイルスに関する議論を厳しく取り締まり、感染状況の報道を規制したことも含めて、あらゆる証拠がこのウイルスが突発的に発生し偶然ヒトに感染したのでは決してないことを裏付けています。

この裏にある大事なことを忘れてはなりません。以前話したように、中共政府は最初からウイルスの真相を隠蔽するつもりでいたということです。わざと海鮮市場からだ。と動物起源説をでっち上げたり、感染者の診断情報やゲノム配列の公表を遅らせ、挙げ句の果てには虚偽のゲノム配列を提供し、人から人へは感染しないと。といった誤った情報ばかりを発信し、真実を隠してきました。もしこのウイルスが本当に自然由来であるのなら政府は責任を問われることはありません。では何故、政府のミスではないのに、彼らは嘘をでっち上げてまで真相究明を懸命に阻止しようとしたのでしょうか。

たとえ野生動物を食べる人がいたとしても、それは、中国に限った話ではないはずです。

では、他の可能性、例えば意図的ではないウイルスの漏えいの可能性もあります。このウイルスが、中共国の某研究所から意図せずに漏えいしたのだとしても、去年12月もしくは去年のもっと早い時期に漏えいが起きていたのなら、どうしてそれを早い段階で食い止めないのか？初期に感染を阻止していれば、例え漏えい事故だったとしても、今日のパンデミックにならないで済んだはずです。そうでしょ？

全ての該当者を検査させ、診断して、彼らの濃厚接触者を洗い出せば、ウイルスが何処から来たのかを調べられます。不慮の漏えい事故と認めたくないなら、研究所の担当責任者に責任追及をする手段もあります。けれども、中共政府はWHOを利用して、闇の力を駆使しました。結果的に、世界中の中共とパイプを持つ研究者達が現段階になっても、政財界の人たちも、今なおも嘘をついています。もう、沢山の嘘を聞かされてきましたね。

もし、このウイルスが自然発生したもの、或いは意図せず漏えいしたものであれば、彼らはここまで嘘をついて真相を隠す必要はありません。

[ジャック]

閔博士、それと...では、バノンさん、どうぞ

[バノン]

ジャック、どうぞ、続けてください。

[ジャック]

先週末にも話し合いましたね。モシャー博士の角度から考えてみようと思いましたが「中共がわざわざ何故こんなことをするのか、どうしても理解できない」と。

確か貴女に言われました。

貴女が当時の香港大学研究室で、上司にいくつかの質問ただけで「消されたくないなら、黙ってくれ」と脅されたことをきっかけに気付いたのだと。

彼らはどんなに邪悪なことでもしでかすことができるとお気づきになったそうですね。中共の歴史を振り返ってみれば、それも納得でき、少しも大げさではないと仰いましたが...

[閔博士]

はい、そうです。これは長い話になりますが、中共の70年の歴史、さらに言えば、共産党の100年の歴史を通して見れば、彼らが間違いなく悪行を貫いてきたと言えます。はっきり言って、彼らが何故こんなことをするのか、私達中国人にもよく理解できません。

恐らく私達、良識を持つ人間は、彼らの悪が到底理解できないのだと思います。中国大陸に数年間滞在したり、もしくは今日の香港に行ってみれば、中共の現実遥かに想像を超えていることに気がつくでしょう。この残忍で、独裁強権的な中共政権に対して、何ら監査機関もなく、制御できる力もありません。彼らは14億の中国人を統治し、金銭と権力を利用して全世界に手を伸ばし、今、米国制覇を図ろうとしています。

分かりやすい実例としては、今日の科学研究業界と高級官僚達は、ヒドロキシクロロキンの使用禁止、及び緊急時における処方薬としての使用も阻止しようとしています。一体、何故だと思いませんか。

中国の歴史を振り返ってみると、1959年から1961年の間、「三年自然災害」と言われる大飢饉が発生し、少なくとも三千万人の死者が出ました。正確な数字は未だに分かりませんが、あの時代を生き抜いてきた中国人に聞けば、皆、家族もしくは知り合いをあの飢饉で失った経験があります。中共政府は食糧を確保していながらも、庶民に配給しなかった。どうしてそうしなかったのかなど、未だに理由は分かりません。実は、私の曾祖父もその当時餓死してしまい、他に家の親戚や友人もそのように亡くなりました。

これは、大きな都市で暮らしていた我が家でさえもこのような被害を受けたのです。何故だか解りません。中共政府は一度も大飢饉を引き起こした本当の理由も責任も認めていません。ですから、中共の動機を人々に理解して貰い、過失行為ではなく、ウイルスを故意に撒いたのだと理解してもらうことには長い道のりが必要だと思います。何故なら、大半の人は善良すぎるからなのです。